

夢の舞台で全カプレー 熱闘 決勝大会!

第18回 中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会

2021年12月4日(土)・5日(日)の2日間、第18回 中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会「決勝大会」を開催しました。中国5県の534チームの中から予選を勝ち抜いた8チームが、「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」をメイン会場に熱い戦いを繰り広げました。



新型コロナ
感染対策に
ご協力いただき
ありがとうございました!

中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会とは?

「毎日ひたむきにがんばる子どもたちの夢を応援したい」という思いから、2004年より「中国ろうきん」の社会貢献活動の一環として、中国地区軟式野球連盟と「中国ろうきん」の共催で開催し、2021年で第18回目を迎えました。

	2020年度	2021年度
鳥取県	105	82
島根県	97	88
岡山県	121	105
広島県	156	143
山口県	128	116
合計	607	534

参加チーム数

1日目 憧れのメダリストと同じ舞台上で野球ができる喜びを噛み締めて

2021年は、野球の楽しさやスポーツが持つ力を改めて感じられた「スポーツの年」でした。初日の4日(土)、時折冷たい風が吹く冬の「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」で決勝大会が開幕。開会式では、本大会を支える方々からの励ましの言葉をもらった後、南観マリアーズスポーツ少年団の主将が元気に選手宣誓を務めました。

初日は準々決勝の全4試合を実施。夢を与えてくれた金メダリストたちも汗を流した憧れのグラウンドをめざし、切磋琢磨してきた選手たち。チームメイトと励まし合いながら、これまでの練習の成果を力いっぱい発揮。寒さに負けぬ熱いプレーを見せてくれました。



2日目 実力が拮抗する準決勝&決勝。わずかなチャンスをつかんで手にした勝利!

2日目は、準決勝と決勝が行われ、3位と準優勝・優勝チームが決まります。準決勝もここまで勝ち上がってきた4チームだけに実力は拮抗し、手に汗握る展開に。一瞬のチャンスをものにした岡山庭瀬シャークスと大和軟式野球スポーツ少年団が決勝の舞台へ。

決勝戦は、序盤は両者譲らぬ戦いを繰り広げましたが、試合が動いたのは6回。センターオーバーの大きな当たりで、岡山庭瀬シャークスに貴重な追加点が入りました。最終7回、大和軟式野球スポーツ少年団も健闘しますが、あと1点が遠くそのままゲームセット。わずかなチャンスをつかんだ岡山庭瀬シャークスが優勝し、白熱した決勝大会の幕が閉じました。



クロスプレーあり、ファインプレーありの白熱した試合の数々。スタンドやベンチで見守る保護者にも感動の涙が見られました。



岡山県 岡山県代表 岡山庭瀬シャークス
鋭い打撃と堅い守りで勝ち抜いてきた岡山庭瀬シャークス。素直に「優勝できて嬉しい!」と喜びを爆発させる主将の穴見くん。流れが相手チームに移りそうな場面でも、諦めずに声を出して仲間を鼓舞し続け、念願の優勝旗をつかみました。

山口県 山口県代表 大和軟式野球スポーツ少年団
2年前の忘れ物を取りにここまで勝ち進んできた大和軟式野球スポーツ少年団。全員野球で粘り強く戦い抜きましたが、惜しくも一歩及ばず。優勝へのリベンジは来年の後輩たちに託されました。

